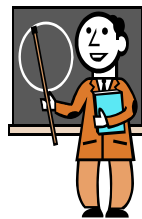


いまふりかえる「学び」・働く「力」

話し手 宮城武久さん（「光の森アリス」生活歩行訓練指導者、ピアカウンセラー）



宮城武久のプロフィール

進行性の眼疾患のため失明して二十余年余りになります。昭和44年に東京都の教員となり、都立盲学校 養護学校に勤務し、平成16年3月に定年を迎えました。

この間、学習心理学を基盤として、障害をもった子ども達の考える力を育てるために昭和56年に「つばき教育研究所」を設立し、定年後理事長を務めています。

また、視覚障害とその他の障害を併せ持つ重複障害の方の施設作りに保護者と共に携わり、十年余の歳月をかけて平成7年に「麻の葉学園」を開設し、理事として運営にあたっています。

障害の理解や障害児教育について講演活動を行っています。

併せて、山口臨床発達支援センターの理事、視能訓練士養成専門学校の講師、都立養護学校の嘱託をしています。

定年まで白杖で通勤していましたが、退職後盲導犬とともに活動しています。

地域の視覚障害者の皆さんの努力で、平成17年4月に視覚障害者のためのデイケア施設「光の森アリス」が生まれました。埼玉県と越谷市の補助金を受けて運営し、日本初の視覚障害者のためのデイケア施設として発足しました。ここで障害者の地域交流促進のモデル事業としてのピアカウンセリングに当たっており、中途失明者の日常生活や歩行に関する援助、ご家族の方の相談などを行っています。

上手ではないがスポーツが好きで、視覚障害者のスポーツの盲人野球 盲人バレー 盲人卓球などをしてきました。また、ローラースケート 水泳 アイススケートなども大好きです。現在はスキーを楽しんでいます。（宮城）

第26回共に働くまちを拓くべんきょう会

11月24日（木）6時半～ 越谷市中央市民会館5階

資料代・200円 NPO法人 障害者の職場参加をすすめる会

埼玉県越谷市東越谷1-1-7 職場参加)ビューロー・世一緒内 048-964-1819

第26回共に働くまちを拓くべんきょう いまふりかえる「学ぶこと」・「働くこと」

11月24日(木)6時半～ 越谷市中央市民会館4階

このべんきょう会は、障害者が地域で働くというテーマをきっかけにしながら、障害のない人の働きかたや暮らし方を含めて、フリーに語り合おうという会です。一回、一回、レポーターをお願いし、それを口火としておしゃべりしますので、初めての方でもどうぞおいで下さい。

今回は、障害児の教育や障害者の社会生活に、長年関わってこられ、ご自身も視覚障害とともに生きてこられた宮城さんからお話をうかがいます。

終了後お時間のある方は、ファミレスでおしゃべりしましょう。

(8月の予定が台風のため11月に変更)



会費・200円

主催・NPO法人障害者の
職場参加をすすめる
会 048-964-1819

話し手 宮城武久さん
(「光の森アリス」生活歩行訓練指導者、ピアカウンセラー)